

# 教育及び文化施策に関する取組事例集

指定都市市長会 こども・教育・文化部会

令和5年5月15日



## 目次

仙台市	・ ・ ・ ・	【教育】	1、2	【文化】	3、4
相模原市	・ ・ ・	【教育】	5	【文化】	6、7
名古屋市	・ ・ ・	【教育】	8～10	【文化】	11、12
京都市	・ ・ ・	【教育】	13、14	【文化】	15
大阪市	・ ・ ・	【教育】	16、17	【文化】	18
北九州市	・ ・ ・	【教育】	19、20	【文化】	21

# こどもを守り、学びと育ちを支えるための持続可能な学校体制づくりについて 仙台市

## 安心して教壇に立つ ～仙台市教員プレゼミナール～

- 新規採用者・講師登録者の着任前の不安を解消し、着任後のメンタルダウンを予防するための採用前のゼミナール
- 令和4年度は、11月から3月まで全8回にわたる講座を開催（参加希望総数110名）。
- 1年目の教員に対して「事前にどんなことを教えてほしかったか」を聞き取り、講座の内容を設定。電話対応、保護者対応、学級づくり等を学ぶ



プレゼミナール「来客への対応」の様子

## 「学校で働きたい」を叶える ～ペーパーティーチャー向け説明会～

- 教員になりたいという願いを持つ方、教員免許状を持つ方を対象に、教職員の仕事の魅力を伝える取り組み
- 教員免許更新制度の廃止に伴い、教員免許状を所有する方の意識の高まりを受け、令和4年度に2回の説明会を実施（参加者数106名）
- 教員採用選考や講師登録、学習支援員等、学校で働く様々な選択肢を紹介



ペーパーティーチャー向け説明会の様子

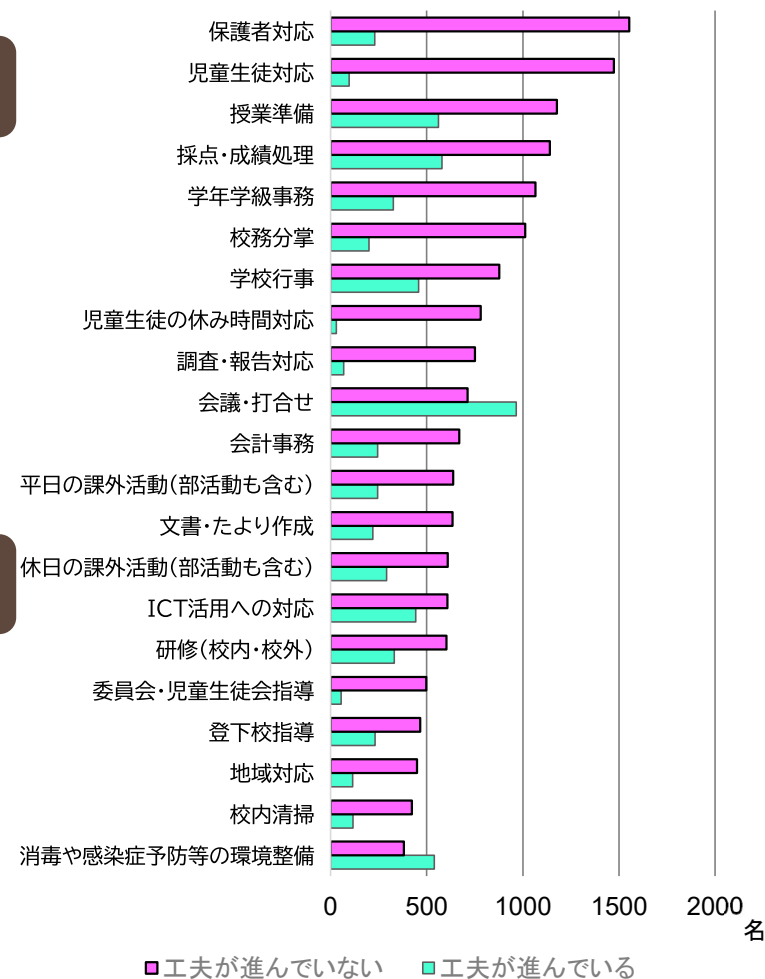
# こどもを守り、学びと育ちを支えるための持続可能な学校体制づくりについて 仙台市

## 業務プロセスに変革を ～働き方改革の推進～

- 勤務時間外での電話対応に自動音声案内を導入  
→計画的に時間を使うことができ、退勤時刻が早まる等の成果
- 出欠連絡に対応する連絡ツールを導入  
→電話対応が軽減され、子どもたちに対応する時間が増加
- デジタルドリルの導入により採点を効率化  
→データの蓄積・活用を進め、個別最適な学習を支援(令和5年4月～)

## 現場の声を聴く ～全教職員アンケートの実施～

- 仙台市で取り組んでいる働き方改革の成果と課題について、全教職員対象のアンケートを令和4年12月に実施
- 学校現場の最前線の声を聴き、働き方改革の取組により、工夫が進んでいる業務とさらに工夫の余地がある業務の洗い出し
- アンケート結果を教育委員会内の多忙化解消プロジェクトで分析・検証  
→教職員の負担感を踏まえた、具体的な改善策を検討



# 次世代への文化の継承、担い手の育成について 仙台市

## 伝統文化を体験する事業の実施

- **民俗芸能のつどい**  
青少年が民俗芸能の上演を通し、地域の伝統文化を体験・継承する機会を提供。昭和60年から原則年1回開催し、令和4年度で35回目を迎えた。
- **せんだい伝統文化フェア**  
こどもが茶道、郷土料理、伝統工芸等を体験できるイベントの開催。令和4年度は、延べ550人が参加。
- **こどものための能講座**  
4歳から15歳までを対象とした能の稽古(謡と仕舞)を体験する講座。1回30分の稽古5回を経て、最終日には発表会を行う。

## 「楽都仙台」の担い手の育成に資する事業の実施

- **仙台ジュニアオーケストラ**  
小学5年生から高校2年生、約100名によるオーケストラを運営。仙台フィルハーモニー管弦楽団の楽団員が講師を務め、年2回の演奏会を中心に活動。
- **青少年のためのオーケストラ鑑賞会**  
市内の小学5年生と中学1年生を対象に、ホール施設で仙台フィルハーモニー管弦楽団のオーケストラ公演を鑑賞する事業を実施。毎年、1万人あまりの児童生徒が鑑賞。  
※令和2～5年度は、コロナ禍の状況を踏まえ、代替として、少人数の楽団員による学校訪問コンサートを実施。



せんだい伝統文化フェアの実施風景



こどものための能講座の発表会



仙台ジュニアオーケストラの演奏会

# 次世代への文化の継承、担い手の育成について 仙台市

## 学校等に芸術家や専門家を派遣する事業の実施

### ● 芸術家派遣事業

市内の学校等へ芸術家を派遣し、音楽、演劇、伝統芸能など、子どもたちへ質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供する事業。令和4年度は122件の派遣を実施。

### ● 出前授業

経験豊かな文化財専門職員や文化財課所属の教員が講師として学校に訪問し、地域にある身近な素材(出土遺物や建造物等)を活かした授業を実施(令和4年度実績 72校 延べ6, 211人)。

### 【新たな文化財学習の取り組み】

#### 発掘現場とのLIVE中継

情報端末を活用し、出土した遺物や検出された遺構をリアルタイムで解説。  
児童生徒の疑問や質問にも対応し、知的欲求に対してタイムラグのない特別な学びを提供。

#### 先端技術を活用した学びの推進

史跡仙台城跡をテーマにしたVR教材を作成し、6月から市内協力校での試作運用開始。  
情報端末上における体験の幅を広げ、文化財への興味・関心の一層の喚起を図る。

#### 仙台版キャリア教育「仙台自分づくり教育」を意識した授業の実践

発掘調査の仕事の紹介、働いている人の思いをテーマに、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力について考えさせる。

また、実際に遺物整理作業を体験してもらうことで、文化財を守るための技術等について実感を伴った理解を促す。



芸術家派遣事業



LIVE中継授業の風景



# こどもを守り、学びと育ちを支えるための持続可能な学校体制づくりについて 相模原市

## 学校における働き方改革

平成30年3月に「学校現場における業務改善に向けた取組方針」を策定し、令和4年度までの目標、取組内容を決定

- 学校閉庁日の拡大(4日間⇒7日間)  
教職員の健康増進や夏季休暇の取得促進を図ること等を目的に、8月の学校閉庁日を拡大
- 中学校部活動指針に基づく取組  
文部科学省から学校部活動に関するガイドラインが示されたことから、「休日の学校部活動の段階的な移行」について検討中
- ICTを活用した業務の効率化  
成績処理などの業務を支援するシステムを全校に導入し、業務の効率化を推進
- 学校給食費の公会計化  
教育委員会が徴収事務や未納者への対応等を実施

▼  
教職員の笑顔が子どもたちの笑顔をつくる

## 教員不足解消に向けた取組

教員不足の解消を目指し、さらに多くの優れた人材確保するための取組を実施

- 教職や相模原の魅力を伝える取組の拡充  
大学や高校での説明会や体験しながら教育の仕事を学ぶ取組 など
- 教員採用候補者選考試験の見直し(令和5年度)  
特別選考区分の増設「大学3年生等早期チャレンジ!!」 など

# 次世代への文化の継承、担い手の育成について 相模原市

## 地域文化教育事業の実施

- **総合写真祭フォトシティさがみはら 子ども写真教室**  
フォトシティさがみはら実行委員会に所属する写真愛好家が講師となり、小学生を対象に撮影実習や撮影写真に対する講評会を実施。(撮影写真は公共施設で展示)
- **学校訪問授業(音楽)**  
市にゆかりのあるプロの音楽家が学校を訪問し、楽器の仕組みや歴史等について学習するとともに、生演奏を通じてクラシックに親しみ音楽の素晴らしさを体感する授業を実施。



子ども写真教室の実施風景

## 地域特性を踏まえた次代の文化芸術を担う人への支援

- **SUPER OPEN STUDIO(スーパーオープンスタジオ)**  
美術系大学が集積する本市及び近隣地域において、卒業生たちが工場や倉庫等をリノベーションし、アーティスト活動を展開しているスタジオ(制作場所)を一斉公開する。参加者とアーティスト相互の交流を促進するとともに、アーティストの活動を周知するため、スタジオ間を巡るバスツアーやワークショップ等を実施。



SUPER OPEN STUDIO実施風景



# ■ 次世代への文化の継承、担い手の育成について

## 相模原市

あらゆる人々が文化芸術活動に触れるために

- 障害のある人や外国籍の人も多様な文化芸術活動を実施



障害のある方の創作活動  
「パラスポーツ体験会会場の装飾づくり」



外国籍の方が日本文化に触れる事業  
「日本文化体験(茶道)」

あらゆる人々への  
文化芸術活動の普及



文化の振興、継承へ

# こどもを守り、学びと育ちを支えるための持続可能な学校体制づくりについて

## 名古屋市

### ナゴヤ・スクール・イノベーション事業



NAGOYA  
School Innovation

社会が劇的に変化する中で、「自らの可能性を最大限に伸ばし、人生をたくましく生きていく」なごやっ子を育成するために、  
**子ども一人一人の興味・関心や能力、進度に応じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を推進しています！**

子ども中心の  
学びの実現！

 NAGOYA-COMPASS-PROJECT

Challenge 授業実践

Collaboration 学校間連携

Change 学校運営改革

Creation 人材育成

Common 学びの機会

ナゴヤの一貫教育の  
さらなる推進！

いっぱい遊ぶぞ♪  
次は何しようかな  
わくわく！

幼小連携

小中連携

中高連携

自分らしく生涯にわたって  
学び続けたい

次はどうしようか、  
わくわくする  
自分で学びを決め  
ていくぞ！

## こどもを守り、学びと育ちを支えるための持続可能な学校体制づくりについて

### 名古屋市

#### 業務の適正化と負担軽減・デジタル化

- 小学校における新たな運動・文化活動の実施
  - ・教員が指導する小学校部活動を見直し、民間委託による新たな運動・文化活動を全校で実施
- 学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化
  - ・「保護者向けアンケートのオンライン化」、「欠席・遅刻連絡のオンライン化」、「お便りのデジタル配信」を一元的に実現する全市統一システム（なごやっ子あんしんメール）を整備
- 学校配付チラシのデジタル化
  - ・事業者等からの依頼により各学校で配付してきたイベント等に関する紙チラシのあり方を見直し、市公式ウェブサイトでの掲載へ移行
- 中学校及び高等学校へのデジタル採点システムの導入（R5～）
  - ・採点業務の負担軽減と分析情報を基にした指導、採点業務誤りの低減等を進めるシステムを導入

#### マンパワーの充実

- 小学校5年生での35人学級の実施（R5～）
  - ・一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を行うため、国の計画に1年先駆けて、小学校5年生の35人学級を実施
- 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置
  - ・新型コロナウイルス感染症対策を行うとともに、教員の負担軽減を図るため、教員業務支援員を全学校園に配置
- 部活動外部顧問派遣事業
  - ・部活動の充実・活性化を図るとともに、教員の多忙化解消のため部活動外部顧問を派遣

# こどもを守り、学びと育ちを支えるための持続可能な学校体制づくりについて

## 名古屋市

### なごや子ども応援委員会の運営

**SC スクールカウンセラー**




公認心理師・臨床心理士等の専門的知識・経験を活かし、心理教育等の観点に基づいた学校生活全般に対する支援を行います。

**SSW スクールソーシャルワーカー**



社会福祉士等の福祉の専門的知識・経験を活かし、子どもたちが置かれた環境への働きかけや関係機関との連携を図ります。

**SS スクールセクレタリー**



ブロック内の庶務事務をはじめ、ブロック間や学校との連絡調整など、子ども応援委員会の活動を円滑に行うための役割を担います。

**SP スクールポリス**



元警察官が学校内外の見守り活動や必要に応じた警察との連携を図ります。

- 全市立中学校110校と一部の市立高等学校に常勤のSCを配置
- 全市立幼稚園・小学校・高等学校・特別支援学校に非常勤SCを配置
- 市内を17ブロック構成とし、各ブロックに活動拠点となる事務局を設置
- 事務局のある学校には常勤のSCに加えて、常勤のSSWとSP、SSを設置

#### <成果>

(相談等対応件数)

- 令和3年度 41,604件 (令和2年度 37,210件)

(教員アンケート)

教育活動を進める上で、子ども応援委員会の役割は重要だと思いますか	R3		R1	
	思う	思わない	感じる	感じない
思う	96.6%	3.4%	82.7%	17.3%
思わない	3.4%	96.6%	17.3%	82.7%

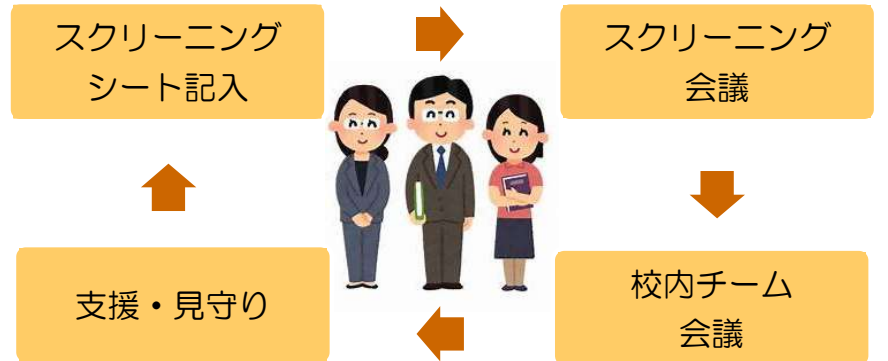
### スクリーニングの実施

子どもの置かれた状況を丁寧に把握し、適切な支援につなぐためのスクリーニングを実施。

学校福祉専門員を配置することにより、スクリーニング会議等の運営、支援検討の際の助言及び区役所等関係機関との支援に必要な連携等を行う。

- スクリーニング実施校 52校
- 学校福祉専門員の配置 33人 (医療・福祉・心理の専門職)

#### スクリーニングの流れ



3つの分野（医療・福祉・心理）の学校福祉専門員がチームで学校をサポート



## 次世代への文化の継承、担い手の育成について

### 名古屋市

#### 「グローバル人材を育む和室活用事業」の実施

##### ● 我が国・本市の伝統文化や歴史を学ぶ機会の充実

教科や総合的な学習の時間などを通して、我が国の伝統文化や歴史などに興味・関心を持ち、「組み立て式和室」を活用しながら体験的に学ぶ。

##### ● 子どもたちのアイデンティティの基礎となる郷土への愛着や誇りの育成

特別活動におけるクラブ活動や、部活動などの時間に、茶道や華道、和楽器、将棋、囲碁といった日本の伝統文化や遊びにふれ、そのよさや楽しさを味わう。



音楽科 和楽器の学習の様子



茶道クラブの活動の様子



## 次世代への文化の継承、担い手の育成について

### 名古屋市 (公益財団法人名古屋市文化振興事業団 実施事業)

#### 名古屋市文化芸術振興計画2025

「名古屋市文化振興計画2020」の基本的な考え方を踏襲しながら、名古屋の文化芸術の底上げとすそ野を拡大し、より一層名古屋の文化芸術を推進していくために策定。

「文化芸術が活(い)きるまち・芸どころ名古屋 文化芸術の灯を守り輝かせ、豊かな未来を創造する」ことを基本理念とし、幅広い市民が文化芸術に親しみ、文化芸術活動や文化・歴史資源を磨き、しっかりとした推進体制や文化施設がそれらを支え、文化芸術をまちづくりに活かしていく取り組みを積極的に進めていく。

#### 劇場での文化芸術鑑賞事業

##### ● 子どもための巡回劇場

次代を担う子どもたちを対象に、身近な場所で人形劇、児童劇、管弦楽、バレエ、伝統芸能などを気軽に楽しんでもらうために、各区の劇場等を巡回する公演を実施

#### 参加・体験事業

##### ● 子どもアートピア

子ども向け参加体験イベントとして、名古屋を中心に活動するアーティストや文化芸術団体による公演やワークショップを通じて、子どもたちが文化芸術に興味を持つきっかけをつくる



子どもアートピア

# こどもを守り、学びと育ちを支えるための持続可能な学校体制づくりについて

## 京都市

### 学校園・地域・教育委員会 ともに進める「働き方改革」

ICTを活用した業務の効率化や労働環境整備だけでなく、チーム担任制や大学と連携した教員確保など、新たな取組にも挑戦

- 電話対応終了時刻の設定(小:18時30分 中:19時)
- 保護者連絡アプリの導入  
(R5年度から全小、中、総合支援学校及び各校PTAで導入)
- 勤務時間に応じた教育活動時間の設定に向けた検討  
(平日の部活動時間を含む中学校の登下校時刻の見直し)
- 全中学校、高校(一部を除く)にデジタル採点システムを導入  
(中:R3年度～ 高:R4年度～)。  
⇒採点業務時間を大幅に削減
- 本市独自予算も活用した校務支援員の全校園配置  
(R2年度～)、その他総合育成支援員、部活動指導員等、多彩な外部人材による支援



ICTを活用した授業

- PTAとも連携した働き方改革の推進  
(PTAしんぶんでの取組紹介やメッセージ発信など)
- 教職大学院との連携による教員の担い手育成(R5年度～)
- 教科指導だけでなく、学級担任業務も複数の教員で分担する  
「チーム担任制」導入校(R5年度約20校)への支援
- 休日部活動の円滑な地域移行に向けた、研究事業を実施  
(R3年度～)、大学とも連携(R4年度～)
- 専門性を高める研修の充実  
をはじめとした「働きがい」の促進



校務支援員の活動

# こどもを守り、学びと育ちを支えるための持続可能な学校体制づくりについて 京都市

## 「子育てしながら働く」環境の充実

全ての教職員が、安心して出産し、楽しく子育てができる環境の充実に努めている

出産前

- 不妊治療休務を新設(R2年度～)
- 産前休暇の取得に先立った代理講師の配置による円滑な引継の支援(R2年度～)

育休終了時

- 育児休業復帰予定者への研修をオンラインで実施し、復帰時の不安を軽減

子育て中

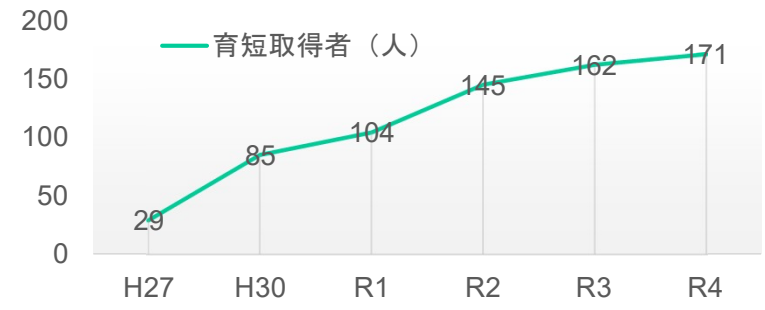
- 子が小学校就学始期に達するまで、勤務時間を短縮できる制度(育児短時間勤務)を実施  
週19時間25分～週24時間35分以内で4種類あり、希望の時間を選択。形態に応じ非常勤講師等を配置

先生がこれまで以上に子どもたちいきいきと向き合い、子どもたちの学びと育ちを支えられる教育環境の実現



教員不足の解消へ

育児短時間勤務取得者推移  
※人数は実人数 R4は9/1時点



## 次世代への文化の継承、担い手の育成について 京都市

### 学校等において文化芸術に触れる授業の実施

- **伝統文化体験事業(茶道・華道)**

全市立小学校では茶道を、全市立中学校では華道を授業の一環で実施。  
全ての児童生徒が在学中に1度は華道・茶道を体験する。

- **文化芸術授業「ようこそアーティスト」**

京都で活躍する多様な分野の一流芸術家が講師となり、市内の小・中学校や保育所等でワークショップ等を実施。年間約70箇所を実施、延べ約4,000人の子どもが参加

### 京都の文化芸術資源を活かした体験事業の実施

- **伝統公演授業「ようこそ和の空間」**

中学生を対象に能楽堂など本格的な舞台上で伝統芸能の魅力に触れる公演鑑賞を実施。  
年間延べ約1,500人の子どもが参加

- **「京の生活文化普及啓発事業」**

小・中学生親子を対象に、京料理や京の菓子文化、花街のおもてなし文化等を体験できる機会を創出。  
年間延べ約1,500人が参加。



ようこそアーティストの実施風景

# こどもを守り、学びと育ちを支えるための持続可能な学校体制づくりについて

## 大阪市

### ～ 教員の働き方満足度日本一を目指して ～

#### 専門スタッフ等の配置

##### ・スクールサポートスタッフの充実

教員の時間外勤務が多い小中学校等に対して、事務作業等の負担を軽減するスクールサポートスタッフを週30時間配置に段階的な拡充を進め、令和7年度までに全校配置を行う。

##### ・ワークライフバランス支援員の配置

育児・介護等、仕事と家庭生活の調和における支援が必要となる教頭の在籍校や課題のある学校に対し、ワークライフバランス支援員を配置し、教頭職の業務負担を軽減するとともに、ワークライフバランスのとれた働きやすい環境の整備をめざすため、段階的に拡充を行う。

##### ・課題解決支援員(スクールソーシャルワーカー)の配置

教員に代わり、生活指導上の課題を有する児童生徒への直接的な支援を担うため、課題解決支援員を4教育ブロックで小中学校等1校の計8校に配置し、教員をサポートすることで、円滑な課題解決に努める。

#### 事務負担の軽減

##### ・欠席連絡等アプリの導入

保護者と学校の双方向連絡を可能とする欠席連絡等アプリを、令和5年度に導入することで、保護者からの欠席連絡等の電話対応、児童生徒の健康観察状態の集約等にかかる事務負担の縮減をめざすとともに、学校からのお知らせが児童生徒を経由することなく、保護者に伝えることや、懇談の出欠確認などの返信を可能とすることで、教員と保護者双方の負担軽減を図る。

##### ・採点支援システムの導入

採点・集計のデジタル化を可能とする採点支援システムを、令和5年度に全小中学校等に導入し、採点業務を効率化や集計の自動化により、教員の採点業務時間及び負担の軽減を図る。

#### 部活動における取組

##### ・部活動指導の負担軽減

###### 【部活動指導員の配置】

部活動による教員の長時間勤務の解消に向け、部活動指導員の配置を拡充を進め、令和7年度までに1校当たり約5つの部活動への配置を行う。

###### 【休日における部活動の地域連携・地域移行】

令和7年度を目途に休日における部活動の地域移行を市内全域に広めていくことをめざす。

#### 学校園で働く教員の意識改革

##### ・学校管理職及び教員への情報発信

学校園が利用するポータルサイトに、働き方改革に関するページを作成し、その中で好事例を展開するなど、各学校園がいつでも閲覧できる環境を整備する。さらに、働き方改革に関する動画等を作成・配信するなど、働き方改革への理解を深める。

#### その他働き方改革に繋がる取組

##### ・学校園における働き方改革の取組に対する、地域・保護者等への情報発信等

地域や保護者に理解・協力を得るために、メッセージを配信することだけでなく、新入生の保護者に対し、学校園における働き方改革のチラシを配布するなど、継続的な働きかけを行っていくとともに、区役所とも協力し、地域や保護者に向けて学校園の働き方改革の理解を得られるような情報発信を行っていく。

#### 各学校園の状況に応じて個々に進める取組

「ゆとりの日」や「学校閉庁日」の設定、学校行事の見直しなど、各学校園において状況に応じた働き方改革を進めるにあたり、教員一人ひとりが共通認識を持ちやすくなるよう、学校園独自の「アクションプラン」の作成を促すほか、ポータルサイトに取組事例等を掲載する。



# こどもを守り、学びと育ちを支えるための持続可能な学校体制づくりについて 大阪市

## 新規採用教員獲得のための取組

### 採用選考における加点

種類	対象
ボランティア加点	全校種・教科
英語の免許状・資格を有する者	小学校
「数学」「理科」「保健体育」のいずれかの免許状所有者	
プログラミングの資格を有する者	
特別支援学校教諭の普通免許状所有者	小・中特支
英語の資格を有する者	中英語

### 採用選考における特例

種類	内容
社会人経験者特例	第1次選考筆答テストの一部免除 (思考力・判断力を測る問題のみ解答)
講師等経験者特例	
教諭経験者特例	第1次選考筆答テスト免除 面接テストのみ
大阪市立学校園現職講師特例	
大学推薦特別選考特例	第1次選考免除
教職大学院推薦特別選考特例	
大阪市教師養成講座修了者特例	

### 教員獲得に向けたPR活動

- 本市教員として働くことについての魅力発信  
→本市ホームページ、Twitter、リーフレット、動画
- 市教委主催の教員採用選考テスト説明会を開催
- 大学への訪問やオンラインでのPR活動
- 教員の魅力説明会の開催  
→大学1、2回生を対象に実施
- 大阪市教師養成講座  
→大阪市内で教師をめざす人を対象に講座を開設



# 次世代への文化の継承、担い手の育成について 大阪市

## 第一級の芸術にふれる機会の充実

- **青少年のための文楽鑑賞教室、夏休み文楽特別公演優待鑑賞事業**  
大阪が誇る「人形浄瑠璃文楽」について、青少年が身近に親しめるような鑑賞機会を提供し、大阪を代表する芸術文化を体験できる機会を創出。年間約3,700名が参加
- **青少年のための歌舞伎鑑賞授業**  
国の重要無形文化財、ユネスコ無形文化遺産である「歌舞伎」を、青少年が身近に親しめるよう、公演鑑賞を実施。年間約270名が参加
- **伝統芸能(上方芸能・能狂言)鑑賞会**  
様々な伝統芸能を身近に親しめるよう、鑑賞機会を提供するとともに、浪曲、講談、落語、上方舞などの上方を代表する伝統芸能や能楽に触れることのできる機会の充実を図ることを目的に実施。年間約1,000名が参加



伝統芸能鑑賞会の実施風景

# こどもを守り、学びと育ちを支えるための持続可能な学校体制づくりについて①

## 北九州市

### 人材確保・育成

#### 発掘 「本市教員の魅力発信！」

- ・ 企業説明会、教員採用説明会（大学訪問・オンライン）
- ・ ペーパーティーチャー支援講座
- ・ 【高校生向け】進路指導学習の出前授業
- ・ 【中・高校生向け】職業説明・職業体験 など

#### 確保 「多様な受験機会の提供！」

- ・ 優秀な人材確保に向けた各種特別選考の実施
- ・ 採用試験の受験申請方法の簡易化（電子申請）
- ・ 受験者負担軽減に向けた選考方法の見直し など

#### 育成 「先生を一人にさせない！」

##### <採用前のサポート>

- ・ 「北九州教師養成オンラインみらい塾」、「みらい塾出前講座」

##### <採用候補者（採用試験合格者）へのサポート>

- ・ 新採教員応援講座「FT+」（フレッシュ・ティーチャーズ・プラス）
- ・ 採用候補者説明会

##### <赴任してからのサポート>

- ・ 教科メンタリング教員による若年教員の支援
- ・ メンター制を活用した校内OJTの充実 など

今後の期待が高まった！  
共有できる仲間ができて  
よかった！

授業づくりについての不安が  
あったけど、相談できてよかった！  
指導案などの資料を見せても  
らって助かった！



FT+（R4年度実施）

## こどもを守り、学びと育ちを支えるための持続可能な学校体制づくりについて②

### 北九州市

#### 学校における業務改善に向けた取組

H29.3 「学校における業務改善プログラム」及び「学校における業務改善ハンドブック<第1版>」策定  
H31.1 「学校における業務改善プログラム<第2版>」策定  
R 3.6 「学校における業務改善コンサルティング」実施（モデル校：小3校、中2校）

- 在校等時間年間平均80h以上…104人 (H29) ⇒ 1人 (R3)
- // 45h以上…1,824人 (H29) ⇒ 549人 (R3)
- 「業務改善が進んでいると感じる」の割合…19.8% (H28) ⇒ 38.2% (R3)

一定の成果が見られた一方で、45h以上の人数が依然として500人以上いることなど、課題が見られる。

#### R5.2 「学校における業務改善プログラム<第3版>」策定

「実践推進校」として19校を指定し、好事例等を収集・発信。

<達成目標>（令和7年度末時点）

- ◎ 月平均在校等時間が45時間以内の教職員の割合・・・100%（R3実績：90.3%）
- ◎ 年次有給休暇の取得日数12日以上教職員の割合・・・100%（R3実績：83.7%）



# 次世代への文化の継承、担い手の育成について

## 北九州市

### 優れた文化芸術と出会う機会の提供

- **市内の全小学3年生が美術館を初めて体験する「ミュージアム・ツアー」の実施**  
バスを借り上げ、市内小学3年生全員(約8千人)を美術館へ招待し、授業の一環として、「①美術作品の鑑賞」・「②磯崎新氏設計の建築鑑賞」・「③市内眺望の鑑賞」の機会を提供  
◆ 令和4年度実績:131校・7,280人
- **「アウトリーチ・インリーチ」により小中学生が文化芸術に出会う機会の提供**  
地域の文化芸術団体等が小中学校を訪問し、「アウトリーチ」によって、茶道や箏などの伝統文化やクラシック音楽等の文化芸術に触れる機会を提供するとともに、「インリーチ」によって、市内のホールで多様な文化芸術体験プログラムを実施 ◆ 令和4年度実績:17,313人
- **小学1・2年生が優れた舞台「ニッセイ名作シリーズ」を体験する鑑賞教室の実施**  
「日生劇場」と北九州市が共同し、小学1・2年生(28校約3,000名)が優れた舞台である「ニッセイ名作シリーズ」を鑑賞する機会を提供 ◆ 令和4年度実績:28校・2,830人

### 次世代の文化芸術の担い手の育成

- **合唱の街・北九州の顔として活動する「北九州市少年少女合唱団」**  
昭和49年発足。3歳から高校生まで、幅広い年齢の 団員76名と指導員6名が在籍。  
北九州市の顔として海外公演等の活動もあり、貴重な体験の場となっている(海外公演13回)。  
市内・近郊の合唱団が集う「北九州少年少女合唱祭」も開催。
- **若き音楽家を育む「北九州市ジュニアオーケストラ」**  
昭和56年発足。小学生から高校生までの団員68名と指導員15名が在籍。  
東京都交響楽団首席ファゴット奏者である長哲也氏など、プロの演奏家も輩出。



↑ミュージアム・ツアー

↓北九州市ジュニアオーケストラ

